



なんが

議会だより

第41号

平成26年12月議会

発行 平成27年2月2日



すみれこども園

- 議長就任あいさつ 2
- 委員会構成 3
- 12月定例議会 4
- 一般質問ダイジェスト 6
- 意見書 10
- 条例の制定 11
- 議会活動日誌 11
- なつかしの我が校舎 12
- あとがき 12

新 委員会構成を紹介します

本会議場の議席配列で構成しています

【常任委員会等(任期2年)】

- 議会運営委員会 (定数 6人)
- 予算決算常任委員会 (定数 14人)
- 総務経済常任委員会 (定数 7人)
- 民生教育常任委員会 (定数 7人)

【特別委員会】

- 広報調査特別委員会 (定数 8人)
- 議会改革調査特別委員会 (定数 14人)

◎ 委員長 ○ 副委員長

はたいちろう ⑭ 秦伊知郎



議長
総務経済
予算決算
広報調査
議会改革

まかべようこ ⑬ 真壁容子



議会運営
総務経済
予算決算
議会改革

いしがみよしお ⑩ 石上良夫



◎ 議会運営
総務経済
予算決算
議会改革

ほそだもとのり ⑨ 細田元教



議会運営
民生教育
予算決算
議会改革

あおとひでお ⑧ 青砥日出夫



議会運営
総務経済
予算決算
議会改革

すぎたにさなえ ⑦ 杉谷早苗



副議長
民生教育
予算決算
◎ 広報調査
議会改革

いだあきお ⑪ 井田章雄



議会運営
民生教育
◎ 予算決算
議会改革

かめおきようぞう ⑫ 亀尾共三



総務経済
予算決算
議会改革

うえだひとし ⑤ 植田均



民生教育
予算決算
広報調査
議会改革

かげやまひろし ⑥ 景山浩



民生教育
◎ 予算決算
◎ 議会改革

いたいたかし ④ 板井隆



◎ 議会運営
◎ 総務経済
◎ 予算決算
◎ 広報調査
◎ 議会改革

よねざわむつお ③ 米澤睦雄



議会運営
◎ 民生教育
◎ 予算決算
◎ 広報調査
議会改革

みかもよしふみ ② 三鴨義文



◎ 総務経済
◎ 予算決算
◎ 広報調査
議会改革

しらかわたつみ ① 白川立真



◎ 民生教育
◎ 予算決算
◎ 広報調査
議会改革

【その他委員名簿】

監査委員	南部町・伯耆町 清掃施設管理組合議会	南部箕蚊屋 広域連合議会	西部広域行政 管理組合議会	後期高齢者医療 広域連合議会
細田元教	秦伊知郎 井田章雄 植田均 米澤睦雄	秦伊知郎 真壁容子 細田元教 景山浩	秦伊知郎	細田元教



副議長
杉谷早苗



議長
秦伊知郎

議長就任あいさつ

このたび、議長に就任いたしました秦伊知郎です。町の発展と、住民の幸のために責務を果たしていく覚悟であります。皆様のご支援賜りますようお願い申し上げます。

さて、旧会見町と旧西伯町が合併し、南部町が誕生し10年が経ちました。活力のある町へと、課題を一つずつ克服してきた10年間でしたが、少子化、人口減少社会への対策は喫緊の課題です。

日本創成会議の示した日本の将来人口の推移では、南部町は2010年約11500人の人口が、2040年には約7280人に減少すると推計されています。

これは何も対策を実施しない場合での推計であり、本町では少子化、人口減少に対しての施策を平成26年度から重点的にスタートさせています。

しかし効果が現れるのは、5〜10年も先であると同時に、他の市町村でも同様の施策が実施されています。この地域間競争に勝利するには、町民の力を結集し、町の発展と将来を考えていく必要があります。

次に議会の活動ですが、二元代表制の中、議会と執行部は車の両輪に例えられています。議会の活性化、住民に開かれた議会、執行部のチェック機能としての議会、議員の使命は執行部からの提案に対し、徹底した議論の上での確な判断をすることだと考えます。同時に町政発展のための提案を発信することも必要です。

このことは、住民の声をいかに町政に反映させるかという上からも重要な点であります。

今後2年間、執行部と力を合わせ、時には徹底した議論を闘わせ、全力で議会運営に努力する覚悟を申し上げます、ご挨拶いたします。

12月定例議会

平成26年度12月定例議会は5日から17日まで開催され、教育委員の任命、2件の条例制定、6件の条例一部改正、8件の公の施設の指定管理の指定、一般会計他1件の補正予算についてそれぞれ審議しました。いずれの案件も可決されました。主な条例、指定管理の指定など案件を報告します。
(議案第97号すみれ保育園に係る条例についてはP11で掲載します)

南部町あいのわ銀行設置条例の一部改正

賛成多数で可決

介護保険法の改正を見据え、所要項目を改正し「福祉サービス」事業を「生活支援サービス」へ改める。基礎点数付与を廃止し、口座開設及び管理を「あいのわ銀行」で行うなど、必要事項を改正し、再スタートする。

(反対意見) 基礎点数を外す「生活支援サービス」は介護保険の受け皿で、町民総動員になりかねない。

(賛成意見) 公的サービスで出来ないところを有償ボランティアなど、あいのわ銀行の条例改正で、今後の南部町の福祉を再構築するものである。



配食サービス

公の施設の指定管理者の指定について (西伯カントリーパーク)

賛成多数で可決

指定管理期間(3年間)が終了するにあたり、指定管理者を公募し選定委員会で審査の結果、引続き株式会社TKSSグループに管理者として指定する。

(反対意見) 管理業務の収支予算書に管理費(利益)が計上されている。公共施設は従来どおり町で管理することが望ましい。

(賛成意見) 企業である限り、利益を計上することは当然である。町が直接管理するより人件費など管理費は安く、利用者のサービスは向上する。



第6回TKSS杯
西伯郡中学校野球大会

議案審査の結果

議案番号	案件名	採決結果
議案第96号	南部町教育委員会委員の任命について	賛成多数
議案第97号	南部町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	賛成多数
議案第98号	南部町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	賛成多数
議案第99号	南部町非常勤職員及び臨時的任用職員の勤務条件等に関する条例の一部改正について	賛成多数
議案第100号	南部町あいのわ銀行設置条例の一部改正について	賛成多数
議案第101号	南部町あいのわ銀行基金条例の一部改正について	賛成多数
議案第102号	南部町国民健康保険条例の一部改正について	全員一致
議案第103号	南部町放課後児童クラブ条例の一部改正について	全員一致
議案第104号	南部町農産物加工施設条例の一部改正について	全員一致
議案第105号	公の施設の指定管理者の指定について(青年の家)	全員一致
議案第106号	公の施設の指定管理者の指定について(上長田会館)	全員一致
議案第107号	公の施設の指定管理者の指定について(南部町福祉センター「いこい荘」)	賛成多数
議案第108号	公の施設の指定管理者の指定について(南部町営西伯カントリーパーク)	賛成多数
議案第109号	公の施設の指定管理者の指定について(南部町東長田山村広場・ふれあいセンター)	全員一致
議案第110号	公の施設の指定管理者の指定について(南部町民野球場・運動場)	賛成多数
議案第111号	公の施設の指定管理者の指定について(南部町農産物直売所)	全員一致
議案第112号	公の施設の指定管理者の指定について(南部町地域物産販売施設特産センター野の花)	全員一致
議案第113号	平成26年度南部町一般会計補正予算(第5号)	賛成多数
議案第114号	平成26年度南部町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	全員一致
発議案第22号	米価下落対策を求める意見書	全員一致

一般会計補正予算

賛成多数で
可決

がんばれふるさと寄付金事業、三世代同居支援事業など

3485万4000円の増額補正予算で総額72億3904万5000円とする

主な事業

がんばれふるさと寄付金事業・・・913万5000円増額
寄付件数増加に伴い、お礼特産品報償費ほかの増額(計2194万6000円)

《寄付件数など推移》

年度	件数	寄付金額(円)
平成24年度	1,010	11,383,501円
平成25年度	2,696	26,311,000円
平成26年度 (10月末)	2,451	26,197,000円

質疑 当初予算より大きな補正だが、その理由は

回答 昨年と同様に当初予算を組んでいたが、8月以降急増し特産品申込み等で補正を行う

・特産品 発送見込

品	見込数	品	見込数
新興梨	1,058	はで干米	508
王秋梨	310	あたご梨	300
富有柿	600	ぼたん鍋	200

三世代同居支援事業

・・・112万6000円増額(計312万6000円)

当初見込んでいた件数より多くの申請があった

質疑 補助金を3年分割から一括補助に変更した理由は。

回答 支援を実感していただけることから、一括補助に交付要綱を変更した。



リフォームされた洗面コーナー

道路維持事業

・・・526万1000円増額(計3792万9000千円)

前年度までの行政要望箇所の工事を早期に対応するために増額補正する

質疑 集落要望の優先順位をどのように対応しているか。

回答 緊急性の高い箇所を優先して対応している。

農地・農業用施設災害

復旧事業・・・309万8000円増額
(計310万円)

8月の台風11号豪雨により被災した農業用水路の復旧工事を行う

賛成
三世代支援事業、ふるさと寄付金など事業拡大の補正また、災害復旧事業など町民にとつて必要な補正予算である。訴訟は町が訴えられたので応訴した。議会も議決をした事項であり、その費用が予算に計上されるのは当然であると思う。

反対
総務費の一般管理費事務費で応訴された事件についての弁護士費用に問題がある。また、訴訟を起こされた住民の話を書くにすれば応訴すべきでない。

討論

家庭教育

杉谷早苗議員

6

Q 家庭教育の教育力への所見は

A 教育力が発揮しづらい環境にある 教育長



杉谷 平成18年教育基本法の改正では独立規定として第10条「家庭教育」が設けられた。

食生活や睡眠習慣は、本来家庭の在り方であつたが、社会状況の変化により、過保護、過干渉、放任など家庭の教育力の低下が指摘され、基本的な生活習慣への教育に深く踏み込んだ検証がなされている。これらについて所見を問う。

家庭教育は全ての教育の出発点でありながら、最終的には家庭内の

教育というところから、なかなか行政として踏み込みにくく、確かな手ごたえも得づらい領域だ。平成18年教育基本法の改正に伴い、新たに家庭教育が条立でされ、保護者、地域、行政の役割が定められた。

従来持っていた家庭の教育力は、時代や社会の変化により、現代は発揮しづらくなり、子育て環境になってきたとの認識から、家庭の教育力を補いつつ、同時に地域と連携、協働する視点が求められていると考える。



家庭教育手帳イラストより

ふるさと納税

白川立真議員

Q 動画を活用しての拡大策

A ホームページにPRコーナーを 町長



白川 当町のふるさと納税額は、スタートした平成20年度に比べ25年度は約6倍に増加しており、特産品の需要も増え生産者の喜びの声をきいている。

しかし今後、自治体間の競争が熾烈を極めると予想され、新たな戦略として動画等でのPRができないか伺う。また、町内の観光や移住・定住施策などの町の魅力を動画等でPRできないか伺う。



町営住宅

亀尾共三議員

地域コミュニティ

板井 隆議員

Q 町営住宅の整備を

A 建て替え・払下げも検討する 町長



亀尾 町の主要事業の一つに、町人口の増加を図ることをあげている。それには、利用が困難な町営住宅の整備を早急に行い、入居希望者の受け入れを可能にすることで、「町の目標は良好な生活を営んでいただくことである」とある。この成果はどうか。

- ① 住宅の使用が可能な数は幾らか。
- ② 使用不可能な住宅の理由はなにか。
- ③ 入居中の住宅で屋根・壁など不具合の声を聞くが実態を認識されているのか。



菅田団地

町長 住宅の整備を早急にすることを求める。① 12月現在26戸となっている。② 修理費をかければ、すべてが使用可能となる。しかし、解体、建て替えの検討も必要であると考え、募集をしていない空き家がない。11戸ある。③ 屋根は古い住宅の中では雨漏りの発生もある。すぐ対処するよう心がけている。④ 昭和に建てられた住宅については、25年以上経過しているため、木造住宅の耐用年数などを考えると、次を見越した計画を実施していかなければならないと考える。過去に払下げをした経過もあるので、今後は払い下げの計画を立て、入居者に理解をいたしていくような検討をしていきたいと考えている。

その他の質問
○消費税
○公民館

町長 考える、次を見越した計画を実施していかなければならないと考える。過去に払下げをした経過もあるので、今後は払い下げの計画を立て、入居者に理解をいたしていくような検討をしていきたいと考えている。



共助交通

7

子育て支援

石上良夫議員

期日前投票所

米澤睦雄議員

Q 実施状況と次年度構想は

A 継続して支援を進める

町長



石上 人口減少社会が進み、社会の存立基盤にかかわる問題として、少子化の克服や、生産性の向上など人口減少に対応した改革が求められている。女性の就労、社会進出が増加するなか、子供と家族のために切れ目のない支援を地域社会、行政が進める必要がある。支援プランの実施状況、地域、町民に望みたいこと、ネウボラ（妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援）充実に必要な点を各課で共同

して取り組んでいる事業と成果等について問う。

町長 今年度から通園世帯への燃料費補助、一時保育、病児・病後児保育の開始、負担金の無料化、三世帯同居支援事業等が開始されたが、子育て中の保護者の満足度が満たされたとは考えていない。

町民の皆様には家庭や地域の中で子供



○その他の質問
人権尊重の町づくり

Q 会見地区に設置を望む

A 現状でご理解いただきたい

選挙委員会委員長職務代理

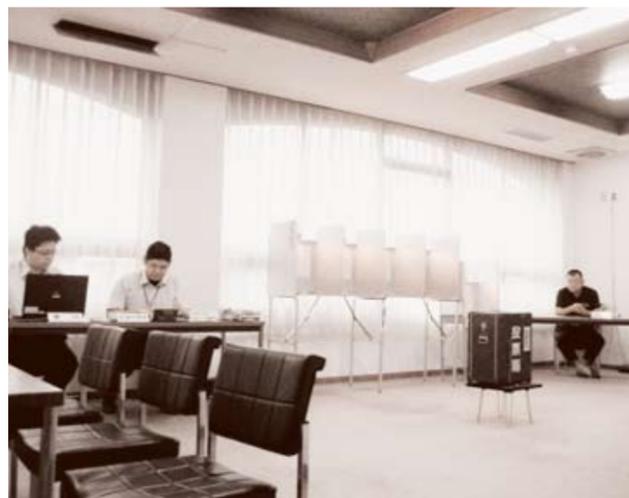


米澤 期日前投票所の会見地区への設置については、

会見地区の住民から強い要望がある。高齢化が進み、会見地区の住民にとって、期日前投票所が会見地区にもあると大変便利になるし、西伯地区の一部の集落の住民にとっても、通勤帰りに投票できるようになる。問題は、いかに住民が投票しやすい環境づくりをするかである。再度選管の考えを問う。

本町においては、期日前投票所の数は合併時に一カ所と決定し、以来10年間多くの選挙を行ってきたが、投票結果、投票率に悪い影響を及ぼすことはなく、順調に利用していただいている。

○その他の質問
農政の今後の展望



期日前投票所(プラザ西伯)

生活困窮者支援法

景山 浩議員

国保税

植田 均議員

Q 実施施策は

A 自立相談支援事業から

町長



景山 昨年末に生活困窮者自立支援法が成立し、来年4月に施行される。従来からある生活保護制度が受給者の急増で存続が危ぶまれる状況になったため、保護対象となる前に支援する制度を創設しようというもので、町がサービス提供者となる。制度概要と当町における運営体制について問う。

町長 制度の目的は、生活保護に至る前の段階での自立支援策の強化にあり、自立相談支援事業、住宅確保給付金、その他の支援事業を行なうものだ。自立相談支援事業では、相談ごとに課題の評価を行ない自立支援計画を作成し、必要な支援サービスを結び付ける。初年度は福祉事務

所が中心となり自立相談支援事業を、社会福祉協議会との連携も考慮し進めていく。また、就労相談体制構築に向けては職員をハローワークに派遣し準備を進めてきている。

まずは、相談窓口が包括的な相談を受け付け、各機関と連携し支援を行なえる体制を整えたい。



植田 われわれが行った会見地区での住民アンケートでは、「今の暮らしはどうですか」の問いに、回答者の約7割が「生活が苦しくなった」と回答を寄せている。

また「町に力を入れてほしいことは何か」の問いの一番の回答が「国保など公共料金の引き下げ」であった。

計からの繰り入れで行うと、他保険に加入されている方にとっては二重の負担になり不公平感があり、好ましくないと考える。

○その他の質問
農業問題
水道料金
福祉増進



① 生活費非課税の原則からの減免制

② 一世帯1万円の保険税の軽減では1600万円かかる。これを一般会



西伯病院



すみれこども園 いよいよ春からスタート

認定こども園に関わる条例の制定

議案第97号

南部町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

賛成多数で可決

この条例は、近年の急激な少子化や家庭を取り巻く環境の変化に伴い、保護者や地域のニーズにこたえるため、知事の認可を受けた施設（認定こども園等）についての運用や基準を定めたものです。

認定こども園とは、就学前の子どもに幼児保育・教育を提供する施設であり、保護者の就労の有無にかかわらず、入園希望の子どもたちを受け入れ、適切な教育・保育を一体的に行える機能をもっています。また、従来からの幼稚園や保育園の位置づけを残しながら、さらに、すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談や親子の集いの場、また、家庭事情による一時預かりなどの機能もあります。

子育て支援を柱とするわが町は、この条例の施行に伴い待機児童をなくし、町内の子どもたちが健やかに大きな夢を持ち元気に成長することを切望しています。



(反対意見) 保育に格差をもたらすとともに保育の専門性がくずれる条件になっている。また、格差をもたらす特定地域型保育事業は外しておくべき。

(賛成意見) この条例制定により幼稚園機能を持った保育園が誕生し、保護者の選択肢の幅が広がる。特定地域型保育事業はわが町では民間の事業参入は、現状では考えられない、条例制定であり、反対する理由はない。

議 会 活 動 日 誌

11月		12月		1月	
日	曜日	日	曜日	日	曜日
1	土	5	金	6	火
法勝寺中学校・南部中学校文化祭		12月定例議会初日		広報調査特別委員会 町政要望会 議会改革調査特別委員会 新年互礼会	
2	日	8	月	7	水
法勝寺中学校文化祭		12月定例議会・町政に対する一般質問		鳥取県議会事務協議会役員会	
7	金	9	火	9	金
西部町村議長会連絡協議会		12月定例議会		商工会互礼会	
8	土	10	水	10	土
会見小・会見第二小学校学習発表会		12月定例議会		叙勲祝賀会	
10	月	11	木	11	日
南部・伯耆二町交流ランドゴルフ		12月定例議会		消防出初式 南部町成人式	
11	火	12	金	14	水
第58回町村議会議長全国大会…14日まで		12月定例議会		広報調査特別委員会	
15	土	14	日	17	土
西伯小学校芸術の秋発表会		西伯文化会館解放まつり		伯耆町町政施行10周年記念式典	
18	火	15	月	19	月
議会運営委員会 全員協議会		12月定例議会		平成26年度トップマネジメントセミナー…20日まで	
19	水	16	火	21	水
鳥取県西部広域行政管理組合議会		12月定例議会最終日		広報調査特別委員会	
25	火	17	水	23	金
鳥取県町村議会研修会		12月定例議会最終日		西部議長連絡協議会 県政に要望する会	
26	水	24	水	26	月
人権のつどい		西部町村議会連絡協議会		鳥取県西部広域行政管理組合議会臨時会	
27	木			28	水
全員協議会 臨時議会				議会改革調査特別委員会	
28	金				
南部町・伯耆町清掃施設管理組合臨時議会					

島根原発

眞壁容子議員

Q 政府に再稼働中止の声を

A 周辺地域の意向も尊重すべき



先日、町内で「福島の声」を聞くシンポジウムが開催された。

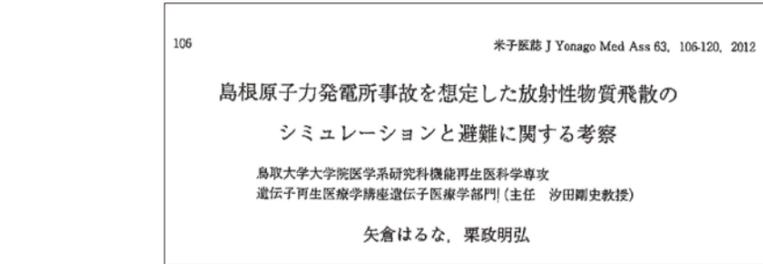
震災後3年半の年月は、地震・津波に加え、原発事故のもたらす影響の深刻さを教えていた。

町長

原発再稼働にあたって

住居・土地・仕事・生活を奪われ復旧の展望すら見えない今、原発再稼働の音が政府から上がっている。避難対象区域ではないといながらも島根原発から近距離の本町も被害をこうむる可能性は高い。シンポジウムは関心の高さを

示していた。町民の生命・安全、郷土の自然を守るためにも、政府の原発再稼働容認の動きに対し近隣首長にも働きかけ、政府に中止を求められたい。



ところでの取り組みを進めていくことが重要と考えている。

「米価下落対策を求める意見書」を全員一致で採択 意見書を国に提出しました。

米価下落対策を求める意見書

2014年産米の収穫は終わったが、農家は空前の米価暴落に見舞われ「米を作り続けることができない」との危機感が全国に広がっている。

全農ととりの平成26年産米の概算金が初めて1万円を切り、過去最低の9,200円と決定された。全国各銘柄の概算金も軒並み下落している。今年の概算金の水準は1970年前後、40数年前の水準といわれている。農水省調査による当時の米生産費は60^千7,000円台であり、当時の米価は多くの農家にとって生産費をカバーできる水準であった。今日では、同調査によれば、過去5年間の全国平均の米生産費は、60^千あたり1万6,102円であり、40年前の約2倍になっている。労働費や、地代を除いた農機具や肥料・農薬などの物財費だけでも9,552円かかっている。加えて今年、円安、消費税増税などで、燃油や資材費が高騰しており、再生産に必要な採算ラインを大きく下回っている。

今年生産を暴落させた直接的な要因は米の過剰在庫の存在といわれている。その背景には予測を上回る消費の減少に加え、計画を超えた「過剰」生産が続いてきたことが指摘されている。「米を

つくる自由、売る自由」を掲げ生産調整への政府関与の否定、さらには生産調整の廃止を打ち出したもとの、需給調整の困難を広げた政府の米政策の責任は重大だ。

加えて今年度は県では米の品質低下と、直接支払交付金の半減で大幅な減収が見込まれている。

農水省は11月14日、緊急対策として収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）や稲作農家への資金繰り対策などを打ち出したが、米生産者の現状から見て充分とはいえない。当面の対策として、以下の点について対策を講じられるよう求める。

1. 過剰米の市場隔離など需給調整に直ちにのりだすこと。
2. 今年度の米直接支払交付金について激変緩和のための追加支援策を導入すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

平成26年12月17日

鳥取県西伯郡南部町議会

なつかしの 我が校舎

加納 操さん 談

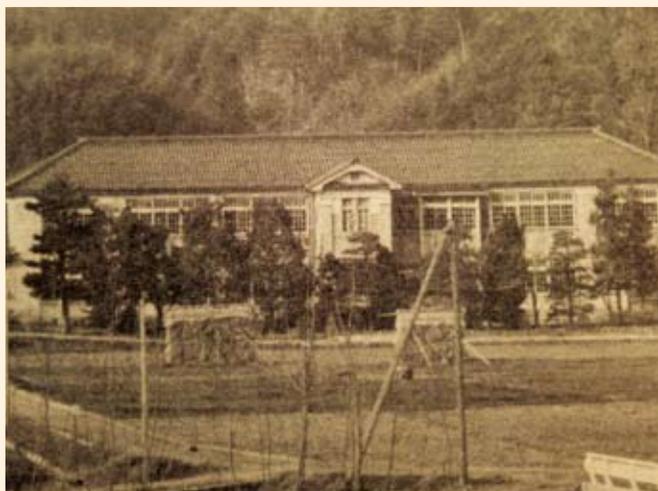
大國小学校の思い出

原稿依頼にうっかり「書きます」と言ったものの頭の中はまさしく走馬灯の如し、とりとめのないことがぐるぐると駆け巡り文案が出てこない。でもいくら考えても一番の思い出は勉強ではない？

(残念……)校舎の裏側の運動場だ。毎日学校に行くのにすでにトランプ、野球の構えでした。学校についたらすぐ『通称・8の字』でトレーニング?……

昭和30年代半ば野球漬けの毎日でした。昭和34年、グラウンドの近くに先生の宿舎があり、現在の天皇陛下のご結婚パレードをテレビで見せていただいた記憶がよみがえります。当時の校長先生の計らいで他校との野球の交流試合をさせていただきました。当時を思い出しますと天津小学校の『種』、東長田小学校の『山脇』、法勝寺小学校の『藤原』、上長田小学校の『福岡』。今から思えば忘れられない良きライバル、終世付き合える友達ができたと大國小学校のグラウンドでした。もちろん大國小学校は『加納一北尾』のバッテリーでしたよ。

でもファールボールが田んぼに飛び込んでいつもご迷惑をかけていました土井のおじいさんごめんなさい。最後に先輩・後輩の皆さんにお詫びします、私たちの時代だけ書いてごめんなさい。



大國小学校

表紙写真

すみれこども園

4月より、「子ども・子育て支援新制度」がスタートします。これに伴い、保育所、幼稚園の入所受付が変わります。

すみれ保育園は、町内の4保育園の中では一番建築年数が古い園舎でした。新制度導入に当たり、新たな機能を持った「すみれこども園」として西伯小学校の隣接地に新築されます。

開園後も保護者の方々、地域の皆様をはじめ町民各位のご支援をお願いいたします。そして、この施設が、南部町の子育てのサポートを十分に発揮されることを期待いたしております。



完成間近の「すみれこども園」

あとがき



◆あけましておめでとう
ございます。皆様のご健
勝とご多幸を心からお祈
り申し上げます。
さて、去る11日には南
部町成人式が挙行され
145名の新成人が誕生
しました。毎年参列し、
若い力の素晴らしさを感じ
ていました。今年度も
は特に会場に溢れる伸び
やかな素直さに感動を覚
えました。そして、恩師
の祝辞の中に、「中学時
代にも言っていたけれど、早
起きはできていたけれど、早
との趣旨の問いかげがあ
りました。早起きができ
る事。それは良い睡眠が
でき、生活リズムが乱れて
いないことですね。
今、睡眠について研究
が深まり、健康福祉課に
も相談窓口が設置されて
います。そして、学校に
おいても睡眠授業が取り
入れられていたり、場所も
あります。よい睡眠によ
る、さわやかな目覚めの
一年でありたいものです。
この第41号「なんぶ議
会だより」より編集委員
構成が変わりましたが、
引き続き読みやすい紙面
を目指します。どうぞ宜
しくお願いいたします。
(杉谷)